



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月14日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東
 コード番号 3904 URL <http://www.kayac.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 藤川 綱司 (TEL) 0467-61-3399
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	1,430	0.2	83	△75.2	85	△74.6	50	△77.6
29年12月期第1四半期	1,427	24.9	337	174.1	338	122.9	225	126.4

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 △2百万円(△100.8%) 29年12月期第1四半期 263百万円(118.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	3.34	3.27
29年12月期第1四半期	14.95	14.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	5,525	2,838	49.8
29年12月期	5,148	2,891	54.5

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 2,750百万円 29年12月期 2,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	3.90	3.90
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	0.00	—	3.90	3.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	19.9	850	25.9	880	19.3	600	18.2	39.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 第2四半期(累計)の業績予想は行っていません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期1Q	15,070,600株	29年12月期	15,060,200株
② 期末自己株式数	30年12月期1Q	135株	29年12月期	135株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期1Q	15,066,222株	29年12月期1Q	15,052,154株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、政府及び日銀による経済政策・金融緩和政策等を背景として企業収益や雇用情勢の改善がみられるなど、全体として緩やかな回復基調となりました。

当社グループを取り巻く事業環境としまして、平成28年12月末のスマートフォン保有率は71.8%と過半数を超えるまで拡大しており、インターネット環境は発展を続けております(出所：総務省「平成29年版 情報通信白書」)。インターネット広告市場につきましても、平成29年の市場規模は前年比15.2%増の1兆5,094億円と順調に拡大しております(出所：電通「2017年 日本の広告」)。また、スマートフォンゲームの市場規模(予測)は、平成28年度は9,450億円、平成29年度には9,600億円と、安定的な成長が見込まれております(出所：矢野経済研究所)。

このような事業環境の中で、当社グループは良質なデジタルコンテンツをより多くのユーザーに楽しんでいただけるよう提供し続けております。その中でも受託サービスであるクライアントワーク、自社サービスであるソーシャルゲーム及び「Lobi」の3つを主要サービスと位置づけ注力し、相互にシナジーを図りながら事業を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,430,396千円(前年同期比0.2%増)、営業利益は83,840千円(前年同期比75.2%減)、経常利益は85,969千円(前年同期比74.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は50,368千円(前年同期比77.6%減)となりました。

当社グループの事業セグメントは単一セグメントではありますが、取扱いサービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

① クライアントワーク

新しい技術とアイデアに挑戦し、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験を提供することで、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告を提供しております。スマートフォンの普及や新しい技術の出現を背景に、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件の増加がみられております。そのような中で、積極的に業務提携を進めるとともに、VRを利用した案件等の新しい取り組みを積極的に行うことで事業領域の拡大を図っております。この結果、クライアントワーク関連の売上高は、530,964千円(前年同期比31.7%増)となりました。

② ソーシャルゲーム

「共闘スポーツRPG」を軸にしたタイトルを展開しており、「ぼくらの甲子園！」シリーズの最新作となる「ぼくらの甲子園！ポケット」が順調に推移しております。その中で、組織を拡充するとともに新規開発ラインに積極的に投資を行う中で、事業規模の拡大を図っております。また、2017年12月に「モダンコンバット Versus」の配信を開始し、パブリッシングにも新たに挑戦しました。しかしながら、新規タイトルの立ち上がりが遅れており、この結果、ソーシャルゲーム関連の売上高は、566,330千円(前年同期比28.2%減)となりました。

③ Lobi

「Lobi」というスマートフォンゲームに特化したコミュニティ事業を進めております。コミュニティがもつめる機能の拡充に努めるとともに、「Lobi」と連携するタイトル数を積極的に増加させる中でユーザー数の拡大を図っております。その中で、「Lobi」の強みであるユーザーやコミュニティにより焦点を当てた収益構造への転換を図っております。また、2017年7月にゲーム大会の開催を簡単にするトーナメント機能「Lobi Tournament」をリリースしました。この結果、Lobi関連の売上高は、79,725千円(前年同期比46.3%減)となりました。

④ その他サービス

「プラコレWedding」等の新規サービスは順調に成長を続けております。また、2017年6月にesports事業を営むウェルブレイド(株)を子会社化し、グループ全体としてゲーム周辺領域のさらなる拡充を図っております。この結果、その他サービス関連の売上高は、253,375千円(前年同期比190.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ376,970千円増加し、5,525,547千円となりました。主な要因は、開発拠点施設関連の取得に伴う有形固定資産の増加155,726千円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ429,568千円増加し、2,687,062千円となりました。主な要因は、資金の借入等に伴う長期借入金が増加315,266千円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ52,597千円減少し、2,838,485千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少50,359千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成30年2月14日公表の「平成29年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を変更しておりません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,691,688	1,866,916
受取手形及び売掛金	1,052,780	1,062,765
仕掛品	58,110	131,787
その他	289,905	290,665
貸倒引当金	△37,090	△37,079
流動資産合計	3,055,394	3,315,055
固定資産		
有形固定資産		
土地	690,478	690,478
その他(純額)	369,815	525,542
有形固定資産合計	1,060,294	1,216,020
無形固定資産		
のれん	263,444	283,720
その他	135,478	134,021
無形固定資産合計	398,922	417,742
投資その他の資産		
投資有価証券	466,687	407,631
その他	169,555	171,275
貸倒引当金	△2,276	△2,177
投資その他の資産合計	633,965	576,729
固定資産合計	2,093,182	2,210,492
資産合計	5,148,576	5,525,547
負債の部		
流動負債		
買掛金	277,469	238,850
1年内返済予定の長期借入金	155,640	280,632
未払金	164,951	173,702
未払費用	184,370	193,980
未払法人税等	81,693	37,178
その他	157,064	229,385
流動負債合計	1,021,190	1,153,729
固定負債		
長期借入金	1,136,468	1,451,734
その他	99,834	81,598
固定負債合計	1,236,302	1,533,332
負債合計	2,257,493	2,687,062

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,410	497,922
資本剰余金	439,291	441,803
利益剰余金	1,573,469	1,565,103
自己株式	△174	△174
株主資本合計	2,507,996	2,504,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	297,512	247,153
為替換算調整勘定	△72	△1,512
その他の包括利益累計額合計	297,440	245,641
新株予約権	38,432	41,769
非支配株主持分	47,213	46,420
純資産合計	2,891,083	2,838,485
負債純資産合計	5,148,576	5,525,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	1,427,296	1,430,396
売上原価	751,547	938,416
売上総利益	675,748	491,980
販売費及び一般管理費	337,772	408,139
営業利益	337,975	83,840
営業外収益		
受取利息	62	37
助成金収入	—	2,100
為替差益	—	641
その他	2,181	306
営業外収益合計	2,243	3,086
営業外費用		
支払利息	975	597
その他	1,067	360
営業外費用合計	2,043	957
経常利益	338,175	85,969
税金等調整前四半期純利益	338,175	85,969
法人税、住民税及び事業税	84,562	27,401
法人税等調整額	28,544	8,993
法人税等合計	113,107	36,394
四半期純利益	225,068	49,574
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△793
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,068	50,368

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	225,068	49,574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,050	△50,359
為替換算調整勘定	△546	△1,439
その他の包括利益合計	38,503	△51,798
四半期包括利益	263,571	△2,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	263,571	△1,430
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△793

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、サンネット㈱の株式を取得し、子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。